

## 事業名

未来へ繋ぐ不登校支援。地域を生きた学びのフィールドへ。  
子どもも大人も自由に学ぶ【くつろぎ自由研究室】を開設したい。

## 実施団体（所在地）

特例認定NPO法人ASOVIVA（南河内郡）

ASOVIVA

## 事業概要

古民家を活用し、不登校になっている子どもたちが地域の人や社会と関われる生きた学びの機会を生み出すとともに、希望を持って進路について考えられる情報やネットワークに繋がれる場を提供。シェアキッチン・物販・ミニカフェ・ワークショップ・講座・交流カフェ・レンタルスペース・地域の助け合い掲示板などに活用。

## 事業規模

約515万円（うちクラウドファンディング目標額 280万円、村上財団支援額 235万円）

地域の人×子どもたち  
が一緒に創る

古民家再生  
コミュニティ

大阪 河南町



## 事業名

不登校・ひきこもりの子ども達がオンラインのバーチャル空間で繋がる・学べる居場所創り

## 実施団体（所在地）

NPO法人キリンこども応援団（泉佐野市）

NPO法人

**キリンこども応援団**



## 事業概要

コロナ禍により社会の繋がりが希薄化し、不登校の子どもが増加。また、居場所があっても、そこに顔を出せなくなっている子どもも多く存在する。不登校やひきこもりの子どもたちが「人に会う」というハードルを下げるため、バーチャルで繋がる居場所を作るとともに学習できる環境を整え、早期に支援者と繋がりを作る。

## 事業金額

約620万円（うちクラウドファンディング目標額 330万円、村上財団支援額 290万円）

## 事業名

LGBTQが気軽に集え、相談できて、  
生きていける地域にするための居場所事業

## 実施団体（所在地）

NPO法人Queer and Women's Resource  
Center（大阪市）

QWRC



## 事業概要

地域や家庭、職場などで生きづらさを感じているLGBTQの居場所づくりを行い、相談事業も行うことで、困っている人を支援につなぐ。悩みを抱える若者の孤立を防ぐため、LINE相談も活用し、将来の展望が抱けるように援助する。

## 事業金額

約480万円（うちクラウドファンディング目標額 240万円、村上財団支援額 240万円）

## 事業名

生活に困窮する子育て世帯・若者を支援する  
子ども食堂等に食料品を届ける仕組みづくり

## 実施団体（所在地）

一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか  
（大阪市）



## 事業概要

フードバンク機能を持つ子ども食堂等の中間支援団体として、企業等から頂いた食品を、大阪の各地の子ども食堂等に届ける体制を構築。フードデリバリーサービスのように配達できるよう配送活動者を確保し、子ども食堂とのマッチングをめざす。

## 事業金額

約310万円（うちクラウドファンディング目標額 200万円、村上財団支援額 110万円）

## 事業名

**コロナ禍の多胎妊産婦支援**  
-大阪650組の双子や多胎児ママパパをつなげるプロジェクト-

## 実施団体（所在地）

**NPO法人つなげる**  
(兵庫県尼崎市)



## 事業概要

コロナ禍で孤独・孤立感が増している多胎妊産婦に対して、人や情報との出会いを通じて孤独や不安感を解消し、心身の健康を維持・改善する機会を生み出すため、オンライン交流広場の運営、オンライン多胎プレパママ教室を提供する。

## 事業金額

約1,000万円（うちクラウドファンディング目標額 500万円、村上財団支援額 500万円）

## 事業名

大きな社会課題である食品ロスと貧困を同時に解決！  
美味しく食べられるのに廃棄となる可能性の高い食品を  
様々な理由で困窮している人達へ配布

## 実施団体（所在地）

NPO法人日本もったいない食品センター（摂津市）



## 事業概要

コロナで雇止め、解雇等により収入が減った方が大幅に増加。一方で、美味しく食べられるのに廃棄になりうる可能性の高い食品も存在する。こうした食品を集め、コロナ禍で経済的に苦しくなっている家庭に直接配送したり、社会福祉協議会やNPO等を介した支援に取り組みます。支援を求める声に応じて低予算でより多くの人達へ笑顔と食べ物を届け食品ロスと貧困問題の同時解決をめざす。

## 事業金額

約500万円（うちクラウドファンディング目標額 250万円、村上財団支援額 250万円）



## 事業名

大阪府下の生活困窮者へ健康的な食事を！  
孤立児童へ食の楽しみを！  
「フードロス解決循環型フードレール事業」

## 実施団体（所在地）

一般社団法人働き方フランチャイズ  
（京都府京都市）



働き方FC



## 事業概要

フードロスになる原材料の集荷し、それを調理し、生活困窮者や孤立児童への配送までフードトラック・キッチンカーを活用して行う。コロナ禍で三密を避けられるフードトラック・キッチンカーを用いながら、配送と同時に集荷を行う循環型の仕組みをつくとともに、精神に不安を抱える方など多様なバックグラウンドを持つ方々の雇用も行いながらSDGsの達成に貢献する。

## 事業金額

約1,000万円（うちクラウドファンディング目標額 500万円、村上財団支援額 500万円）